

秋の交通安全運動が、9月22日から10月1日までの10日間全国一斉に行なわれます。運動は歩行者の中でもとくに事故率の高い子どもと老人の事故防止、交差点における交通マナーの確立を重点に進めていきます。なお、期間中の10日間、1日ごとに目標を決め、それぞれの目標にしたがって行事が行なわれます。



【歩行者には十分な注意を】

秋の交通安全運動 歩行者

子どもと老人は“赤信号”

相変らず多い老人と子どもの事故

歩道を設置して車と人を分離、危険な交差点にはセンターポールやロードフラッシュャーなど交通安全施設の設置を進めています。この結果、今年市内で発生した人身事故は8月までに728件（昭和46年910件）、死者23人（32人）、負傷者925人（1185人）と昨年同期に比べ、それぞれ大幅に減少しています。しかし、歩行者事故、とくに子どもと老人の事故はあまり減りませんでした。そこで、秋の交通安全運動では、歩行者、とくに事故率の高い子どもと老人の事故防止と、交差点における交通マナーの確立を重点に進

めていきます。

子どもと老人の事故防止では、交通教室など開き指導を行なっていますが、運転者のみなさんも子どもやお年寄りを見たら“赤信号”と思つて安全運転を心掛けてください。また、幼稚園や小学校を中心とした、スクールゾーンの定着化も行ないます。

交差点における交通マナーの確立では運転者はもとより歩行者、自転車に対する街頭指導、取締りを行ないます。

なお、期間中の10日間、1日ごとに目標を決め、それぞれの目標に従つて運動を進めていきます。

- ・9月22日 交通安全意識高揚の日
- ・9月23日、30日 子どもと老人の安全確保の日
- ・9月24日、10月1日 交差点における交

通マナー確立の日

- ・9月25日 交通環境をよくする日
- ・9月26日 自転車利用者安全指導の日
- ・9月27日 ヘルメット着用指導の日
- ・9月28日 安全な横断確保の日
- ・9月29日 安全運転管理徹底の日

■レジャー事故にご注意

警察庁の調べによると最近の交通事故は、これまでと変わり、日曜、祝日などレジャーの行きや帰りに、マイカーによる事故が増加しているそうです。特に、行きの事故では出発後50km未満と300km以上、帰りは家に着く直前の50km未満が多く、先を急ぐあまりのスピード違反や無理な追越しなど原因となつています。

連休などに、いろいろなレジャーの計画もあると思いますが、無理な運転は絶対しないようにしてください。



12カ所にロードフラッシュャー 事故の多い交差点に

見通しの悪い交差点や交通事故の多い交差点に、交通安全点滅装置（ロードフラッシュャー）の設置を行なっています。すでに中央病院前や伝法小東側交差点など7カ所に設置しました。



ロードフラッシュャーは、40トンの自動車の上を走つてもビクともしない丈夫なもので一日中点滅を繰り返す、夜は100mぐらい先からも確認できます。ドライバーのみなさん、ロードフラッシュャーの点滅信号は、安全を呼びかけているのですから、運転には十分注意して下さい。

なお、秋の交通安全運動が始まる9月22日までに、中桁、スーパーひのや前交差点など5カ所に設置します。完成すると市内には12カ所設置したことになります。

【交差点中央に設置されたロードフラッシュャー】